

『美術館の顔、常設展示』

飯山にゆかりの芸術家の作品を展示

市美術館は秋の企画展を終えて常設展示になりました。常設展示では、飯山市出身あるいは市にゆかりのある芸術家の作品など、美術館の収蔵作品や個人所蔵の作品の中から約60点余りを展示しています。

例えば常設展示している画家のひとりである宮沢鉄夫（1898～1966、市内福寿町生まれ）は、主に日展を舞台に活躍した日本画家で、初期から後期までの大作4点を展示

しています。信州をはじめ日本各地を余すところなく写生したという彼の作品は、構図や色彩等が洗練されており、見るたびに新たな発見があります。なかでも後期の作品『俗』裏表紙掲載）は豊田村豊津碯（現、中野市豊津碯）の町なみを描いた作品で、夕暮れどきなのか千曲川が画面左上に赤っぽ



い色彩で表現されています。宮沢鉄夫の作品の多くには人物は描かれていませんが、山などの自然を描いた作品にはそれらと向き合う画家の息づかいが、また町なみを描いた作品にはそこに生きる人々の息づかいが強く感じられます。

一層の情報交換と交流を

飯水・中高公民館運営協議会交流会開催

11月30日（金）、飯山市公民館と栄村公民館で組織する飯水公民館運営協議会と、中野市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村の中高公民館運営協議会との交流会が木島平村人権センターを会場に、各市町村公民館、地区公民館等の役職員約30人参加のもと開催されました。

60年に及ぶ公民館の歴史の中で、その時代により社会環境の大きな変化などから公民館に求められている有り様や、取り組むべき課題は様変わりしています。交流会の中では、各市町村公民館で取り組んでいる事業やその効果、現在の抱えている問題点や、時代の要請に公民館がどのように応えていくか等の課題を意見交換すること

で、飯水・中高地区とも同じような悩みを抱えていることがわかりました。また、今後、お互いの事業や行事に参加しあうことも進め、情報交換を図りながら確認を共有し、これからの公民館の有り様をさらに探っていくことを確認しました。



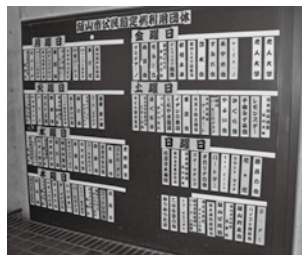
地区の話題

平成19年度老燃教室閉講

老いて更に燃え、人生を楽しむための19年度老年教室は、飯山地区の老人クラブ・社協・公民館3者共催で、4月10日より月2回ペースで、16回開催してきました。11月27日（火）、最終回となったこの日は、閉講式ということで、皆勤・精勤賞の表彰と前期・後期各4回以上受講した人へ19年度終了証の交付を行いました。

また19年度最後の講話は、まよめの意味で長瀬哲公民館長から、9月の飯山地区の戦没者慰霊法要で行なった講話の資料をもとに、太平洋戦争で戦没者の実態等について話され、「国会で議論になっていくことなど、敗戦から復興が一段落した日本なら考えら

に集まりスタートしたケースや、他の施設から移ってきたケース、子ども達に学ぶ場を提供するボランティアの団体など様々です。中には10年以上活動している団体も多くあり、技能や知識を他の方にお伝えすることができると皆さんもた



市民の皆様も総合学習センターをご利用の際は、飯山市公民館窓口前に掲示してあります「飯山市公民館定例利用団体」のプレート（写真）をご覧ください。ただし、参加してみたい活動やサークルが見つかりましたら、声をかけてみてはいかがでしょうか。



皆勤賞

木村小夜子
宮崎六江
高橋かつ
岸田ち江子
山本真子
内藤千代
高柳節江

地区の話題

集落公民館活動紹介

木島地区 下木島公民館

下木島公民館では、任期1年専任館長と副館長、専門委員8名を配置し、公民館運営に取り組んでいます。

文化活動では、「区民ふれあい広場」学習活動では、「下木島のおいたち」「石仏を訪ねて」等講師を呼んでの各種学習会・厚生体育活動では、地区館事業の「ソフトボール大会、ソフトボール大会、地区駅伝大会」等への参加活動、また、区民を対象に児童会の協力も得て実施する「環境美化ゴミ拾い活動」や「道祖神祭り」等を年間計画として事業を展開しています。その他に「木島少年クロスカントリースキー大会」「木島少年ロードレース大会」も共催で開催しています。

その中でも、一年を通じて区民が一堂に集まる区最大のイベントとして、毎年7月第3日曜日「区民ふれあいの日」を開催します。今年は、7月15日に下木島公民館にて実施しました。子供から高齢者まで多くの区民が集うように設営するもので、天候にも恵まれ公民館広場は大勢の区民で賑わいました。

準備は、9名の専門委員による事前会議、会場設営を行い当日は、各隣組長さんのお手伝いもあり、会場はイベント広場に様変わり、館内では区内で活動されている方々による作品（油彩画・水彩画・手芸・ちぎり絵ほか）の展示、演芸の発表会では、（フルート・ソロ演奏・ギター演奏・詩吟・舞踊・地元有志によるプロジェクトASOバンド演奏・カラオケ等）を披露しました。また屋外では、子供たちによる二ジマスつかみ取りやモチつきを行い各種販売では、焼き鳥・焼きイカ・かき氷り・金魚すくいを原価で販売し、おでんや飲み物等で振る舞い祭典を盛り上げました。

区民に大勢集まっていたため、焼き鳥等の無料サービス券付き案内状を添え全戸配布でお知らせしました。また会場では、全員のみなさんに抽選券を渡し、終了間際に空クジなしの大抽選会を催し、老いも若きもみんな楽しんでいました。